

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 中村 元寛

所属 (School) 現代システム科学域

学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)

マレーシア工科大学

留学期間 (study abroad period)

2018/2/18~2018/3/5 (16日間)

記入日 (Date) 2018年3月9日

留学レポート Study Abroad Report

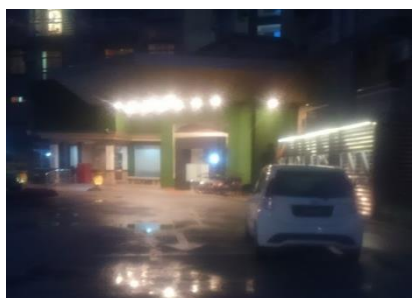
今回、私は UTM (マレーシア工科大学) での短期集中プログラムに参加しました。マレーシアでは英語が準公用語として用いられています。短期間でも英語力をつけることが出来るのではと思ったこと、多民族国家のマレーシアならではの異文化交流が出来ると思ったことがこの研修に参加したきっかけです。

● UTM での生活

早朝に関西国際空港に集合し、途中クアラルンプール空港では乗り継ぎの飛行機が大幅に遅れるアクシデントがありながらも無事 UTM のあるジョホールバルへ。着いて一番初めに思ったことは気温と湿度の高さでした。この研修期間中、私たちは Scholar's Inn という大学内の宿舎に泊まりました。寮内はとても清潔で生活しやすかったです。大学内にはカフェやフードコートが複数あり、多くの食事は大学内で済ませました。また、大学のキャンパスはとても広大で、寮と講義を受ける建物との移動にはバスを利用しました。



スナイ国際空港にて



Scholar's Inn 入口



カフェで食べたナシゴレン

● 研修中のプログラム

講義では、英語でのオーラルプレゼンテーションやグループディスカッション、マレー語の講義、マレーシアの経済事情などについて学びました。プレゼンやディスカッションではどのようにすれば英語でうまく相手に自分の言いたいことが伝えられるのかを学ぶことが出来ました。マレー語の講義や経済の講義ではマレーシアの文化や生活の様子が少し見えたような気がしました。当然ですがどの講義も英語で行われるため、常に英語を聞いて話す力を身に付けるトレーニングとなりました。また、毎日決められたハッシュタグをつけた Instagram の投稿をするという課題も出されました。

他にも、CSS (Cultural Shearing Session) というプログラムがありました。このプログラムは、マレーシア、日本がお互いに自国の伝統文化を紹介しあうというものです。マレーシアの CSS では、私たちは伝統衣装を身にまとい、伝統舞踊や遊び、ジョホールバルでのお祭りのために作られる小物が紹介されました。普段知ることのないマレーシアの文化を体験することができました。数日後には日本の CSS が行われました。書道、折り紙、日本の遊びの 3 つのブースを回ってもらった後紙飛行機大会とトントン相撲大会を開催しました。終始バディたちが楽しそうにしてくれ、とても良かったです。



プレゼン作成に使った PC ルーム



東南アジアの伝統武術・シラット



書道の後にバディと

● バディとの交流

この研修を語る上で欠かせないのがバディについてです。この研修では日本人1人につき1人の現地大学院生がバディになってくれます。バディたちは常に私たちのことを気にかけてくれました。分からない食べ物があればどのようなものか説明してくれたり、マレーシアの生活について話してくれたり、逆に日本のことについて話したり、様々なことを話しました。また、私たちの自由時間には様々なプランを練ってくれました。授業が終わった後には UTM 内のイブニングマーケットやジョホールバルの王宮、ナイトマーケットなどに行きました。特に王宮では巨大な王冠や色とりどりにライトアップされたたくさんのオブジェがとても綺麗でした。それ以外にも一緒にバレーボールをしたりバディの運転でショッピングに出かけたりと楽しい時間を過ごしました。休日もほとんどの時間をバディと過ごしました。UTM 内のある建物を使ってのミッション形式のイベントや、ジョホールバルの観光地へ連れて行ってくれました。雨の中行ったカヤックもいい思い出になりました。

研修の終盤にはシークレットサンタというイベントがあり、日本とマレーシアのバディ間で相手には秘密でプレゼントを用意しました。また、自分のバディからもプレゼントを貰いました。バディたちとの時間は本当に楽しく、お別れの時にはとても名残惜しい気持ちになりました。今でも LINE や Instagram を通じて連絡を取り合っています。



バティック染め体験



ジョホールバルの王宮にて



バディからのプレゼント

● 最後に

留学に興味はあるけれども様々なことが不安でためらっている人もいますかと思いますが、実際、私もこの研修に参加するまではそのような人間の一人でした。しかしこの研修を通じて私はかけがえのないたくさんの思い出ができたと同時に自分自身を成長させることが出来たように感じます。迷っているならば一歩大きく前へ踏み出してください！海外で得られるものはきっとあなたにとって一生モノの財産になると思います。

最後になりますが、この研修をサポートしてくださった国際交流課の皆様、旅行会社の皆様、UTM でお世話になった全ての方々、本当にありがとうございました。この研修での経験を生かしてこれからも頑張ろうと思います。